
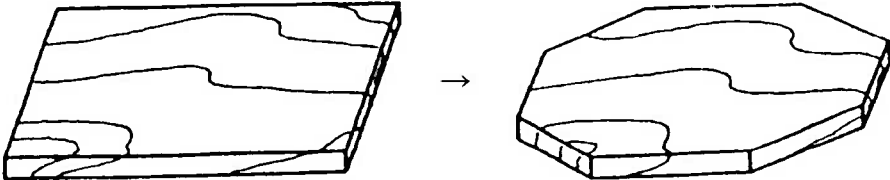
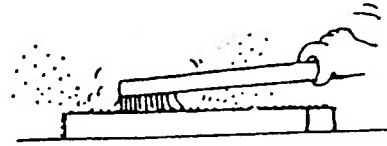


活動名	焼板細工				
概要	杉の木の板を焼き、木の木目を活かしながら絵や文字を描きます。				
時期	通年	所要時間	2～3時間	人数	150名まで
活動の持つ効果(特質)	①創作の喜びを知り、木のもつ暖かさや手づくりの良さを体感する。 ②やり遂げた達成感・充実感を味わう。 ③作品を仲間と鑑賞しあう。				
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	①のこぎり・糸のこぎり ②ワイヤーブラシ ③火ばさみ ④たわし ⑤なた ⑥きり ⑦丸太台 ⑧ペンチ・ニッパー ⑨半切ドラム缶 ⑩パレット・水入れ・筆		<input type="checkbox"/> 材料（売店で購入） 板、ヒートン、チェーン、薪（セットで）170円 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 古布 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> マッチ <input type="checkbox"/> 水性絵の具		
手順	①活動の30分前までに、団体の担当者と自然の家職員とが打合せを行います。 ②活動場所で自然の家職員が説明します。 ・用具の貸し出しや後片づけの方法、作り方、安全上の注意点 など ③終了後、用具等の片づけと清掃を行います。				
留意点	①自由な発想でつくります。壁掛けに限定する必要はありません。 例：なべしき、コースター、表札等 ②板をぬらすと加工しにくくなるので、注意しましょう。 ③刃物や火を扱いますので、ケガには十分注意しましょう。 ④用具等ははていねいに扱い、確実に返却願います。 ⑤燃え残りや灰は、灰捨て場に捨ててください。				
方法 (内容)	①半切りドラム缶で火をおこします。 ②板に鉛筆でデッサンをした後、のこぎりや糸のこぎりで形を整えます。 <div style="text-align: center;">  </div> ※魚や飛行機の形等、いろいろと工夫してみましょう。				

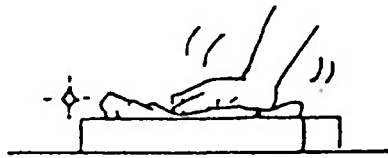
③火ばさみで板を持ち、裏表を均一に焼きます。



④ワイヤーブラシで木目に沿って、丁寧にこすり煤（すす）を落とします。
※燃えている部分はブラシですばやく落とすこと。どんどん焦げていきます。



⑤光沢が出るまで布でよく磨きます。
※木目が浮き出てきます。



⑥ヒートン、チェーンをつけます。



⑦絵付けをして、できあがりです。

壁掛け・表札の例



コースター・なべしきの例

